

教育委員会の運営にあたって

平成26年(2014年)4月
札幌市教育委員会教育長 町田 隆敏

取組姿勢

札幌市教育委員会では、今後10年間を見据え、幼児期から生涯を通じた教育施策を総合的に示す「札幌市教育振興基本計画」を平成26年2月に新たに策定しました。

本計画で「札幌市の教育が目指す人間像」として掲げた「自立した札幌人」の実現に向け、不易たるべきところは堅持しつつ、社会経済状況の変化を幅広く的確に捉え、学校、地域、家庭など様々な活動主体が一体となって、生涯にわたる学びを高め合っていきたいと考えています。

そのため、関係機関等との連携協力を図るとともに、地域、家庭、さらには企業などの協力と参画を得ながら、計画に基づく取組を着実に進めてまいります。

最重点課題

①分かる・できる・楽しい授業の推進

「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン」を実行し、「学ぶ意欲」「学んだ力(基礎的・基本的な知識・技能)」「活かす力(思考力・判断力・表現力等)」の「学ぶ力」の3要素をバランスよく育みます。

②課題探究的な学習の推進

「科学的リテラシーを育む学び」や国際バカロレアのプログラムを切り込み口として課題解決能力を育みます。

③体力向上の推進

生涯を通じて運動に親しむための基礎を培うとともに、積極的に心身の健康の保持増進を図る資質や能力を育みます。

④進路探究学習の充実

将来の生き方や進路について考える「進路探究学習」を通じて、広い視野から社会や職業を捉える力を培うとともに、自己肯定感や自己の実現に向けた意欲を育みます。

⑤命を大切にす指導の充実

自分や他者の生命を尊重する態度を育むとともに、子どもの心のサインに気付き、的確に対応する指導の充実を図ります。

⑥札幌らしさを実感するとともに国際性を育む学びの充実

「札幌らしい特色ある学校教育(雪、環境、読書)」や「国際性を育む学び」を通して、心の中にふるさと札幌の意識をもちながら、幅広い視野に立って物事を考えていく力を育みます。

⑦「知の拠点」としての図書館の充実

(仮称)絵本図書館や都心にふさわしい図書館の設置などにより、「知の拠点」として、生涯にわたる市民の生活や創造的な活動を支えます。

⑧子どもが安心して学べる支援や対応の充実

いじめ・不登校などの未然防止や早期発見・早期対応を行うため、子どもが安心して通える校内支援体制を構築するとともに、子どもの悩みや不安感を解消するための相談及び居場所づくりを推進します。

⑨地域に開かれた学校

サッポロサタデースクール事業の実施や学校施設の複合化の検討など、地域と学校の協力関係を構築し、地域全体で子どもを育てる環境を醸成します。